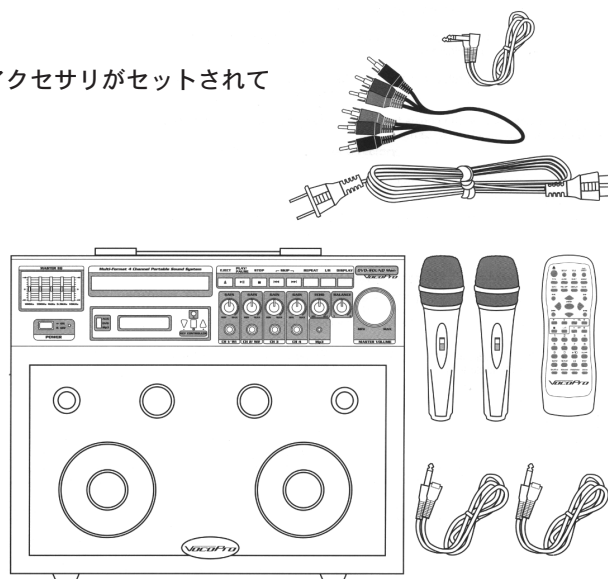


このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前には必ず本取扱説明書をお読みください。

セット内容

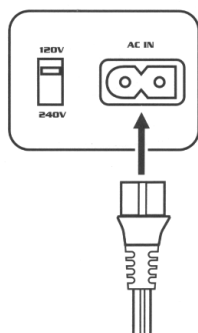
- ・最初に梱包から本製品を取り出し、以下の製品、アクセサリがセットされていることをご確認ください。

1xDVD-SOUNDMAN本体
2x有線タイプマイク
2xマイク用ケーブル
1xRCAビデオケーブル
1x3.5mmステレオコード
1xAC電源コード
1xリモコン

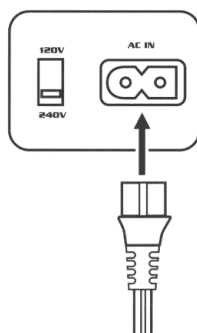


電源コードの接続

US/JAPAN 100~120V



EU 220~240V



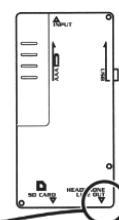
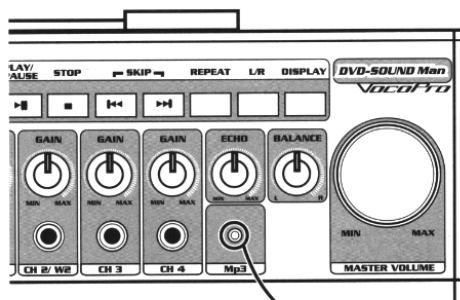
- ・日本国内使用であれば必ず左図のようにツメを120Vに設定ください。
 - ・付属のACコードのコネクタを左図のように本体のソケットに奥までしっかりと差し込んでください。
 - ・逆側のACピンはコンセントに差し込みます。
- ※付属のケーブルは日本での使用のためのものです。
※欧州など別の国では絶対に使わないでください。
※また、必ず付属のコードをご使用ください。もしご使用前にケーブルに損傷が見られる場合は、危険ですのでご使用にならず、販売店にお問い合わせください。

MP3プレーヤーとの接続

- ・DVD SOUNDMANはMp3のアンプとしてもご使用可能です。

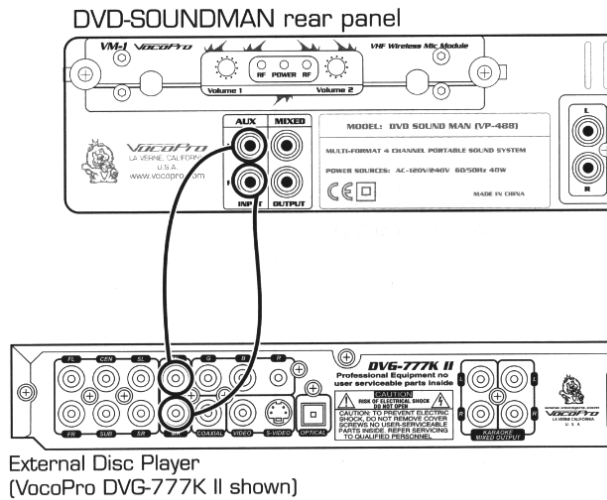
必要なもの：3.5mmステレオコード
Mp3プレーヤー（3.5mmのヘッドホン出力口ありのもの）

- 1.ステレオコードの片側を本体の右図の場所に、もう一方をMp3プレーヤーに差し込んでください。
- 2.本体のフロントパネルのソースセレクトでMp3を選択ください。
- 3.Mp3プレーヤーで曲を選びスタート
- 4.本体で音量などを調節ください。



Mp3 Player
(VocoPro RECODE-1 shown)

外部プレーヤーとの接続



- ・外部のCDプレーヤーなどの音源の外部RCA出力とも接続可能です。

必要なもの：ステレオRCAコード
CDプレーヤーもしくはRCA出力付きの音源

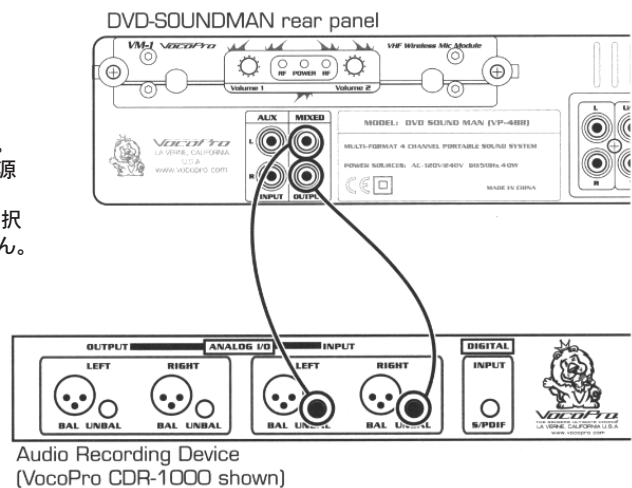
- 1.左図のようにRCAコードで音源と本製品を接続します。
- 2.フロントパネルのソースセレクトでAUXを選択
- 3.音源を動作させ、おのおのの音量などを調節ください。

外部オーディオ録音デバイスとの接続

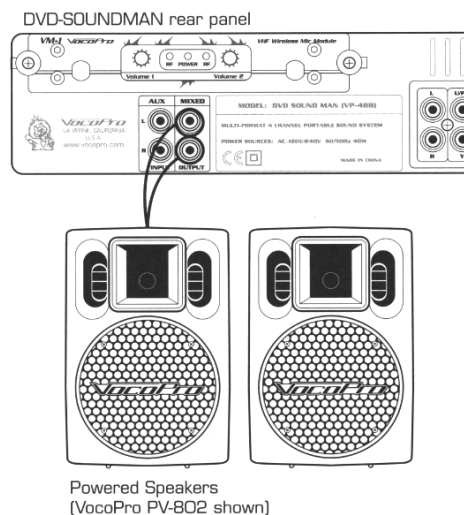
- ・外部の録音機器に本製品で音楽と音声をミックスされたものを出力させることができます。

必要なもの：ステレオRCAコード
RCA入力付きの録音デバイス

- 1.左図のようにRCAコードでデバイスと本製品を接続します。
※出力はラインレベルです。大きすぎる場合は、マスター音源音量を調節ください。
- 2.フロントパネルのソースセレクトでMIXED L/R AUDIOを選択
※マイク入力のヴォーカルは、上記設定でないと出力しません。



外部パワースピーカーとの接続



- ・本製品はスピーカーが組み込まれていて基本的に外部スピーカーを必要としません。
- ・ただ、パフォーマンスブーストのため外部スピーカーと接続したい場合は以下の通り設定ください。。

必要なもの：ステレオRCAコード
RCA入力付きのパワースピーカー

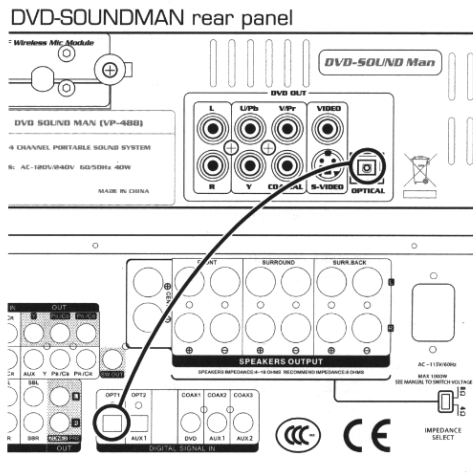
- 1.左図のようにRCAコードでデバイスと本製品を接続します。
- 2.フロントパネルのソースセレクトでMIXED L/R AUDIOを選択
※マイク入力のヴォーカルは、上記設定でないと出力しません。

デジタルレシーバとの接続

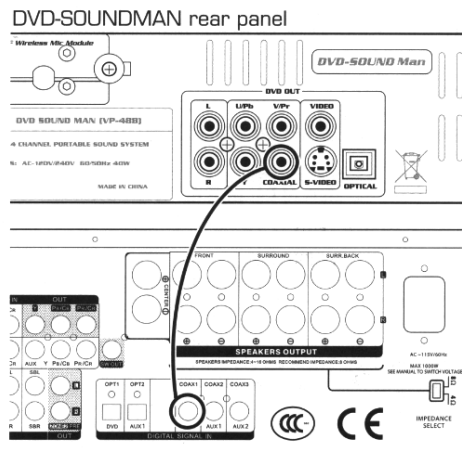
- ・本製品はデジタルレシーバとも接続可能です

必要なもの：RCAコード
デジタル同軸オーディオ入力付レシーバ

- 1.右図のようにRCAコードを用いてレシーバと接続ください。
※マイクのヴォーカルは、MIXED L/R出力からでないと供給されません。



Receiver
(VocoPro DTX-9909K shown)



Receiver
(VocoPro DTX-9909K shown)

- ・本製品はデジタルレシーバとも接続可能です

必要なもの：デジタル光学オーディオコード
デジタル光学オーディオ入力付レシーバ

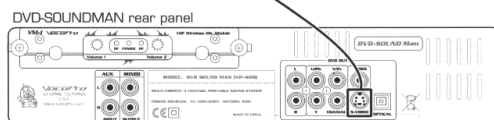
- 1.右図のようにデジタル光学オーディオコードを用いてレシーバと接続ください。
※マイクのヴォーカルは、MIXED L/R出力からでないと供給されません。

TV or モニターとの接続

- ・本製品は3wayでビデオ出力が可能です

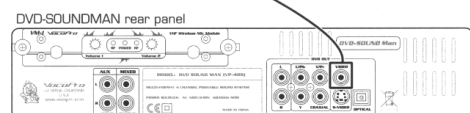
必要なもの：RCAコード
RCA入力付TVもしくはモニター

- 1.右図のようにRCAコードを用いて接続ください。
※テレビによっては自動で信号検知しますが、マニュアル選択が必要な際はテレビなどの取扱説明書に従ってください。
通常は、ビデオINのコネクタがあります。



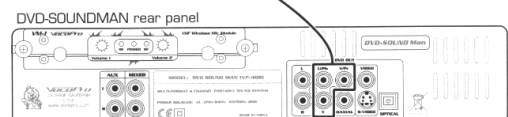
必要なもの：YPBPRビデオコード
YPBPRビデオ入力付TVもしくはモニター

- 1.右図のようにYPBPRビデオコードを用いて接続ください。
※テレビによっては自動で信号検知しますが、マニュアル選択が必要な際はテレビなどの取扱説明書に従ってください。
通常は、ビデオINのコネクタがあります。

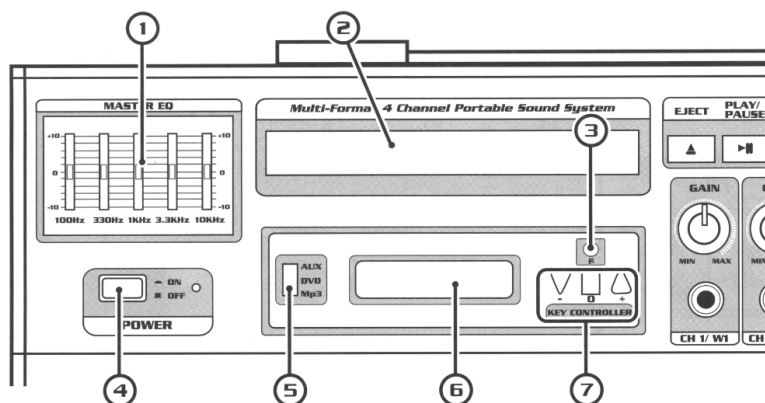


必要なもの：S-VIDEOコード
RCA入力付TVもしくはモニター

- 1.左図のようにS-VIDEOコードを用いて接続ください。
※テレビによっては自動で信号検知しますが、マニュアル選択が必要な際はテレビなどの取扱説明書に従ってください。
通常は、ビデオINのコネクタがあります。



各部説明および機能

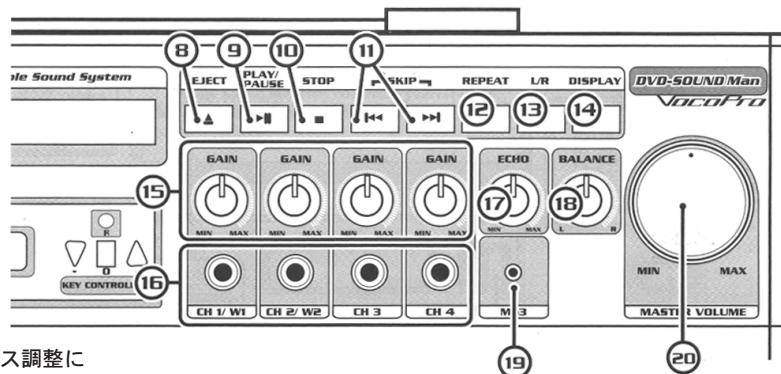


フロントパネル

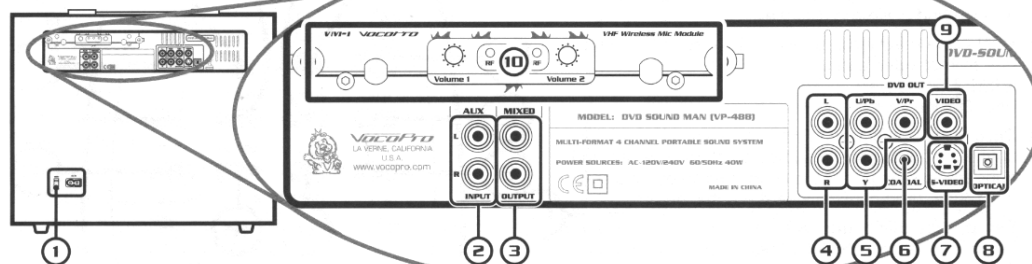
- ①グラフィックエコライザー：EQはブーストと余分な周波数カットのために用いられます。100～330Hzは、超低～低周波数で、330～1kHzは、中レンジとなり、1kHz～10kHzは高～超高周波レンジです。上げることでブースト、下げることでカットとなります。※RCAなどの外部出力には適用されません。
- ②ディスクトレイ：EJECTボタンを押すことでトレイを開閉できます。
※セクタをDVDに設定する必要があります。

- ③リモコンセンサー：リモコンの信号受信部です。リモコンをダイレクトにに向けてください。
- ④電源ボタン：電源のON/OFFに
- ⑤ソースセレクトスイッチ：オーディオソースの選択に必要です。
AUX:背面のRCA音源入力時に DVD:ディスクプレーヤー使用時に Mp3:フロントパネル3.5mmオーディオ入力時に
- ⑥VFDディスプレイ：トラック表示、セッティング情報
- ⑦キーコントロール：ヴォーカルに合わせた音源キー変更。DOWNで-、UPで+に。
※メイン音源に適用されヴォーカルには適用されません。

- ⑧Ejectボタン：ディスクトレイの開閉に
- ⑨Play/Pauseボタン：再生と一時停止に
- ⑩Stopボタン：停止
- ⑪Skipボタン：スキップ
- ⑫Repeatボタン：1曲/すべて/OFF
- ⑬L/Rボタン：モノ左/モノ右/ステレオ
- ⑭ディスプレイボタン：経過時間/残り時間
- ⑮チャンネルゲインコントロール：各チャンネルマイクのゲイン調整に
- ⑯マイクチャンネル入力：6.35mmモノジャック対応で最大4本まで
- ⑰エコー調整：ここではすべてのマイクのエコーを同時に調節可能です。
- ⑱バランス調整：右左のチャンネル出力のバランス調整に
- ⑲Mp3入力：3.5mmオーディオ入力
- ⑳マスター音量調節：すべての音量を同時に調節可能



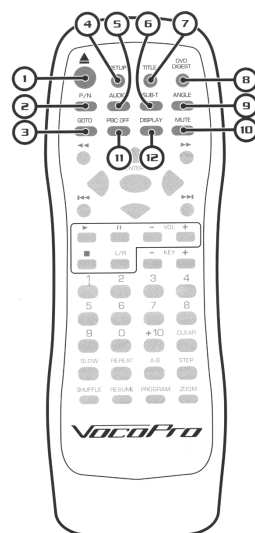
リアパネル



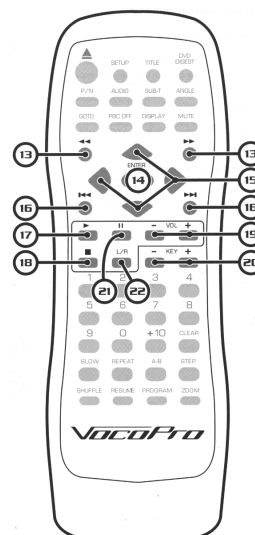
- ①AC電源入力ソケットおよび電圧セクタ：日本国内の場合は120V設定、電源コードのコネクタをここに差し込みます。
- ②AUXオーディオ入力：外部RCA音源をここに
- ③Mixedオーディオ出力：RCA出力をTVやオーディオデバイス入力に
- ④ステレオRCAオーディオ出力：TVやオーディオ入力に
※この出力ではマイクのヴォーカルはミックスされません
- ⑤コンポーネントビデオ出力：ビデオケーブルでTVのコンポーネントビデオ入力に
- ⑥デジタル同軸オーディオ出力：レシーバーのデジタル同軸オーディオ入力へ
※この出力ではマイクのヴォーカルはミックスされません
- ⑦S-VIDEO出力：S-VIDEOケーブルでTVなどのS-VIDEO入力へ
- ⑧デジタル光学オーディオ出力：レシーバーのデジタル光学オーディオ入力へ
※この出力ではマイクのヴォーカルはミックスされません
- ⑨RCAビデオ出力：RCAビデオケーブルでTVなどのビデオ入力へ
- ⑩ワイヤレスモジュールポート：別売のワイヤレスモジュールをセット可能

リモコン各部説明および機能

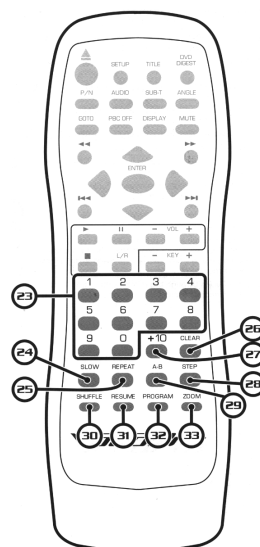
- 1.Open/Close:ディスクトレイの開閉に
※ソースDセレクトがDVDに設定されていないと動作しません。
- 2.P/N: ビデオ出力をNTSC/PALの選択に
※日本国内ではNTSCに設定ください。
- 3.Goto: こちらを押してエンターキーで決定することで指定のトラックへジャンプします。
- 4.Setup: こちらのボタンでスクリーン設定画面へ進みます。ここで言語など詳細設定が可能です。※英語版参照
- 5.Audio: このボタンでDVDの言語変更可能です。
※DVDに依存するのですべてのDVD対応ではありません。
- 6.Sub-T: DVDのサブタイトル変更に
※DVDに依存するのですべてのDVD対応ではありません。
- 7.Title: タイトルメニューのリターン
- 8.DVD Digest: 対応不可
- 9.Angle: DVDのビューアングル変更に
※DVDに依存するのですべてのDVD対応ではありません。
- 10.Mute: オーディオ出力をミュート
- 11.PBC OFF: 対応不可
- 12.Display: スクリーン設定へのアクセスに



- 13.Scan: 頭出しに
- 14.Enter: スクリーン設定の決定ボタン
- 15.Direction Arrows: スクリーン設定の終了
- 16.Skip: 次のチャプター/トラックへの移動へ
- 17.Play: 再生/停止/一時停止
- 18.Stop: 停止/一時停止
- 19.Vol+: オーディオの音量調節に
- 20.Key+: 音楽のキー変更に
※マイクからの音のキー変更には対応していません。
- 21.Pause: ディスクのポーズに、再度押して再生
- 22.L/R: Mono-Left/Mono-Right/Stereo切替

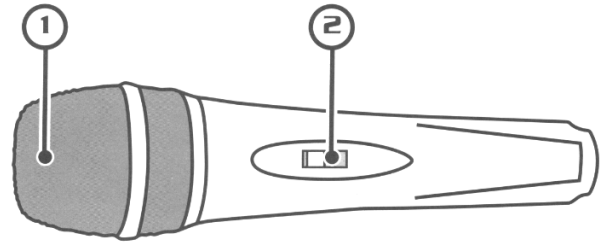


- 23.Number Pad: トラックへダイレクトにアクセス
- 24.Slow: スロープレーオプション
- 25.Repeat:
 - CD/CD+G: 1つ繰返し/全部繰返し/繰返しOFF
 - DVD: チャプター繰返し/タイトル繰返し/繰返しOFF
- 26.Clear: 数字入力クリア
- 27.+10: 数字入力時に10桁用に
- 28.Step: フレーム送り
- 29.A-B: ループの繰返し※詳細は英語版で
- 30.Shuffle: シャッフル
- 31.Progrum: プログラムメニューへ
- 33.Zoom: ズーム/ズームアウト



マイク各部説明および機能

- ①Grill：風とプレスノイズ除去とマイクカートリッジ保護のため
- ②電源スイッチ：ON/OFFスイッチ



取扱の注意

- ・本取扱説明書に記載ない使用法では用いないでください。その場合保証対象外となります。
- ・本製品に熱を加えたり、天地を変えて設置したりしないでください。冷暗所でご使用ください。
- ・ごみの多い場所に設置しないでください。製品内にゴミが混入すると故障の原因となります。
- ・本製品を振動の多い場所に設置したり、振動を加えないでください。故障の原因となります。
- ・本製品は防水仕様ではありません。水濡れや湿度にご注意ください。また風呂場など湿度の高い場所にも設置しないでください。結露による故障の原因となります。お手入れも薬品や水は用いないでください。お客様の不注意による破損の場合は保証対象外です。必ず室内でお使いください。
- ・本製品に衝撃や強い振動を与えないでください。お客様の不注意による破損の場合は保証対象外です。
- ・本製品を改造したり、分解したりしないでください。保証対象外となります。
- ・お使いにならない期間が長くなる場合は、電源コードを取り外し、可能であれば箱にセットして冷暗所で保管ください。
- ・ケーブルや電池などの付属品は消耗品のため、初期不良以外は保証対象外となります。
- ・日本国内以外でご使用になる場合は、必ずその土地の電力事情、法律に従って電源をご用意ください。
- ・他の機器との接続に起因する本製品の損傷、またその他の接続機器の損傷につきましては免責とさせていただきます。接続前は十分にご注意ください。
- ・本製品の立ち上げには、必ず音量を最小に動作開始し、徐々に音量を上げていくようご注意ください。
- ・本製品を用いて発生した音に関しまして、騒音などの責任は弊社は免責とさせていただきます。回りに迷惑をかけないように慎重にご使用ください。

発売元：電子通商株式会社
東京都杉並区浜田山4-12-1
TEL:03-5377-3838